



令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果概要

二宮町教育委員会



(1) 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の内容

- 教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）
- 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（児童生徒に対する調査、学校に対する調査）

(3) 実施期日

令和7年4月17日（木）

※中学校理科については、二宮中学校は4月15日（火）、
二宮西中学校は4月16日（水）

(4) 調査を実施した二宮町内の児童生徒数

	国語	算数・数学	理科
小学校	185人	185人	185人
中学校	181人	179人	185人

今回お知らせする結果は、学力や学習状況の一部であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などすべてを表すものではありません。

教科に関する調査結果

小学校

□国語

	平均正答数	平均正答率
二宮町	9.2問/14問	66.0%
全国	9.4問/14問	66.8%

○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるよう書き表し方を工夫することについては概ねできている。
●学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。

□国語

学習指導要領の内容		平均正答率	
		二宮町	全国
知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	71.6	76.9
	(2) 情報の扱い方に関する事項	64.3	63.1
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	81.1	81.2
思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	62.3	66.3
	B 書くこと	71.2	69.5
	C 読むこと	57.6	57.5

中学校

□国語

	平均正答数	平均正答率
二宮町	7.8問/14問	56.0%
全国	7.6問/14問	54.3%

○文脈に即して漢字を正しく使うことが概ねできている。
○自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫することができるについて、概ねできている。
●読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることについて課題がある。

	平均正答数	平均正答率
二宮町	7.8問/14問	56.0%
全国	7.6問/14問	54.3%

□算数

	平均正答数	平均正答率
二宮町	9.2問/16問	57.0%
全国	9.3問/16問	58.0%

○角の大きさについては、概ね理解できている。
●台形の意味や性質についての理解について課題がある。
●数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることに課題がある。

□算数

学習指導要領の領域及び評価の観点		平均正答率	
		二宮町	全国
領域	A 数と計算	60.9	62.3
	B 図形	55.1	56.2
	C 測定	55.1	54.8
	D 変化と関係	58.7	57.5
	E データの活用	62.7	62.6
評価の観点	知識・技能	64.1	65.5
	思考・判断・表現	48.5	48.3

□理科

	平均正答数	平均正答率
二宮町	9.7問/17問	57.0%
全国	9.7問/17問	57.1%

○ヘチマの花のつくりや受粉についての知識について理解できている。
●水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解していることに対して課題がある。

□理科

学習指導要領の領域及び評価の観点		平均正答率	
		二宮町	全国
領域	A エネルギー	44.7	46.7
	B 粒子	50.2	51.4
	C 生命	55.8	52.0
	D 地球	64.5	66.7
	評価の観点	知識・技能	54.9
評価の観点	思考・判断・表現	59.2	58.7

□理科

※IRT 入力とは、IRT に基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定して、全国平均を基準とした得点で表したもの

	平均正答数	※IRT 入力
二宮町	2.9問/6問	504
全国	2.9問/6問	503

○電熱線で水を温める学習場面において、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能について、身についている。
●水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について問うことで、生命を維持する働きに関する知識について、課題がある。

	平均正答数	※IRT 入力
二宮町	2.9問/6問	504
全国	2.9問/6問	503

○電熱線で水を温める学習場面において、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能について、身についている。

●水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について問うことで、生命を維持する働きに関する知識について、課題がある。

	平均正答数	※IRT 入力
二宮町	2.9問/6問	504
全国	2.9問/6問	503

○電熱線で水を温める学習場面において、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能について、身についている。

●水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について問うことで、生命を維持する働きに関する知識について、課題がある。

○電熱線で



令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果概要

二宮町教育委員会



児童生徒質問紙調査の状況について

□国語に関すること

- 「国語の勉強は得意である」「国語の勉強は好きである」と回答した中学生の割合は、全国平均を10%以上上回っています。
- 小・中学生ともに、「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う」と回答した割合は、90%以上と高い割合です。
- 「国語の勉強が好きである」と回答した中学生の割合は、小学生時と比べて大幅に増加しています。

□理科に関すること

- 「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」「理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できている」「自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしている」「理科の授業では、問題に対して答えがどのようになるのか、自分で予想（仮説）を考えている」と回答した中学生の割合は、全国平均を10%以上上回っています。
- 「理科の授業では、観察や実験をよく行っている」「理科の授業では、問題に対して答えがどのようになるのか、自分で予想（仮説）を考えている」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を上回っています。
- 「理科の勉強は得意である」と回答した回答した小・中学生の割合は、全国平均を下回っています。

□家庭学習等について

- 平日、「3時間以上」「2~3時間」勉強していると回答した中学生の割合は、全国平均を上回っています。
- 学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていると回答した小学生の割合は、約2人に1人の割合です。
- 学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていると回答した中学生の割合は、約3人に2人の割合です。
- 平日、休日ともに勉強を「まったくしない」と回答している小・中学生の割合は、全国平均を上回っています。
- 中学生は、長時間学習する生徒と全く学習しない生徒の割合が全国平均より高いです。

□他者、地域や社会とのかかわりについて

- 「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある（習い事は除く）」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を10%以上上回っています。

□ICTを活用した学習状況について

- 「週3日以上（ほぼ毎日を含む）授業で、PC・タブレットなどのICT機器を使用している」と回答した中学生の割合は、全国平均を大きく上回っており95%以上と高いです。
- ICT機器を使って文章作成や情報整理、プレゼン作成ができると回答した小・中学生の割合は、全国平均を上回っています。



□算数・数学に関すること

- 「算数（数学）の問題の解き方が分からぬときは、あきらめずにいろいろな方法を考えている」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を上回っています。
- 「小数や分数の計算をすると、工夫して計算しようとしている」と回答した小学生の割合は、全国平均を上回っています。
- 「文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができる」と回答した中学生の割合は、全国平均を上回っています。
- 「算数（数学）の勉強は得意である」と回答した小・中学生の割合は、全国平均よりも下回っています。

□基本的生活習慣等について

- 朝食を取ったり、同じくらいの時間に就寝するなど規則正しい生活を送っている小・中学生の割合は、全国平均と同程度です。
- 健康について学習したこと普段の生活に役立てている小学生の割合は、全国平均と同程度です。

□自己有用感、幸福感等について

- 「人の役に立つ人間になりたいと思う」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになる」と回答した小・中学生の割合は、90%以上と高い割合です。
- 「これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがある」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を上回っています。
- 「将来の夢や目標を持っている」「学校に行くのは楽しい」と回答している中学生の割合は、全国平均を下回っています。

□読書等について

- 「読書が好き」と回答した中学生の割合は、全国平均を上回っています。
- 「学校の授業時間以外の1日で、読書を全くしない」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を下回っています。
- 家庭にある本の冊数は、全国平均より多い傾向にあります。
- 小・中学生の新聞を読む習慣については、全国と共に全体的に割合が低く、特に中学生で顕著です。

□主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について

- 特に小学校の割合については、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した」については、全国平均を大きく上回っています。
- また、中学校の割合については、「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した」については、全国平均を大きく上回っています。
- 学級活動に関する項目については、小学生の割合が全国平均を下回っています。